

## ルール3: 壁面位置の制限

### ルールの内容

建築物の外壁又はこれに代わる面から隣地境界線までの距離は**0.5m以上**

※ルールが定められた時点で、**当該規定に適合しない敷地**については、**この規定は適用されない**

※以下の建築物、建築物の部分については適用されない（詳細は次項）

- ①建築物に附随する開放性の高い自動車等の車庫
- ②出窓
- ③地盤面下の建築物の部分及び基礎又は地階の外壁等の部分のうち、地盤面までの高さが1m以下のもの



対象：**全域**

### ルールの目的

隣地からの延焼リスクの低減、避難経路の確保をするため、制限するものです。

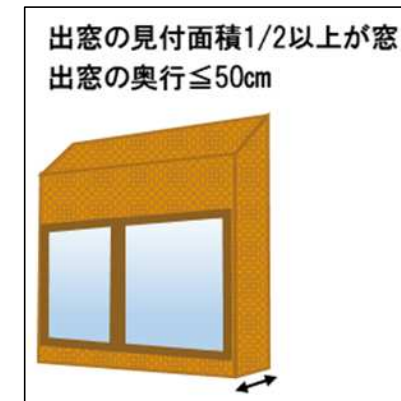
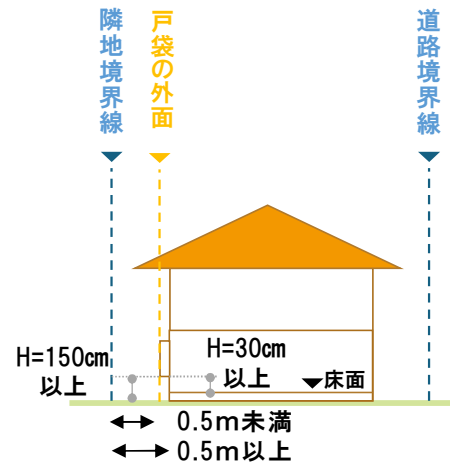


# ルール3: 壁面位置の制限

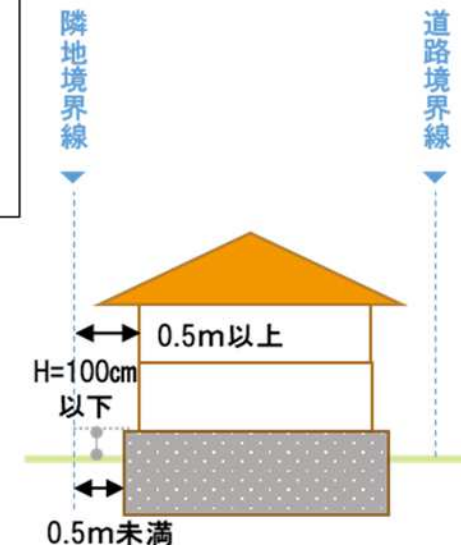
## 建築物又は建築物の部分で適用されないものの詳細

① 建築物に附随する **開放性の高い自動車等の車庫**（軒高が2.3m以下のもの）

② **出窓**（見付面積の2分の1以上が窓であり、天袋、地袋その他これらに類するものを設けていないものであり、下端の床面からの高さが30cm以上、かつ、下端の地盤面からの高さが150cm、出幅50cm以下である部分）



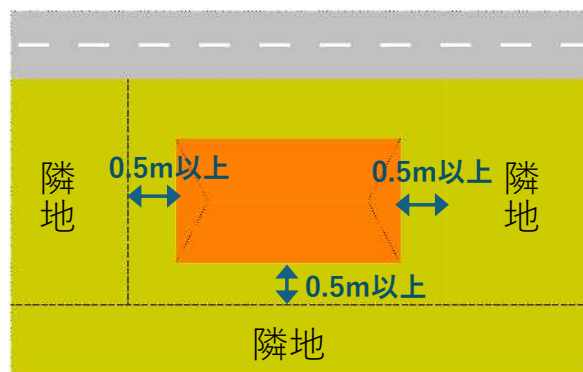
③ **地盤面下の建築物の部分及び基礎又は地階の外壁等の部分**のうち、地盤面までの高さが1m以下のもの



# ルール3: 壁面位置の制限

現在

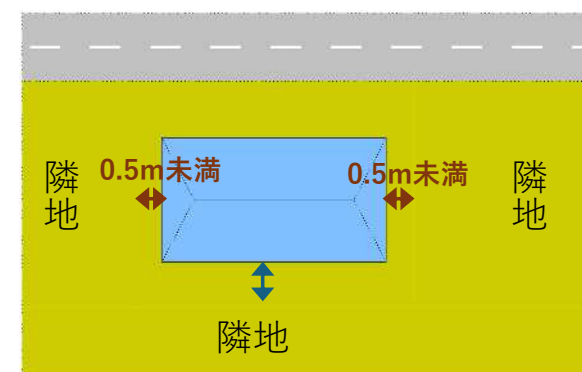
建替えの場合



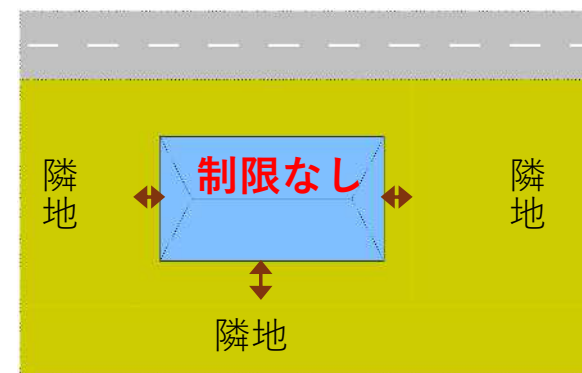
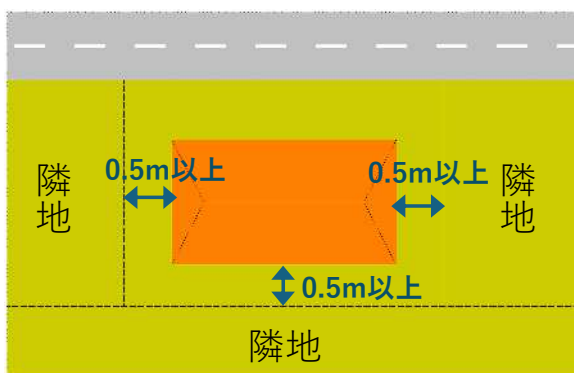
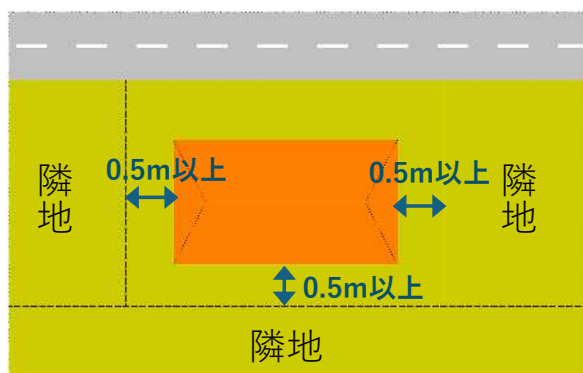
新築の場合



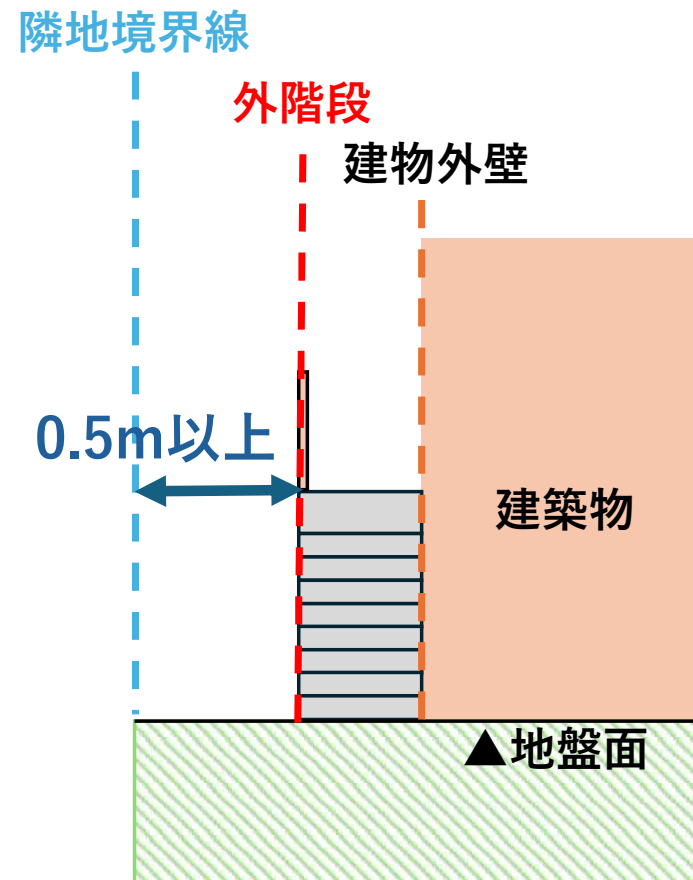
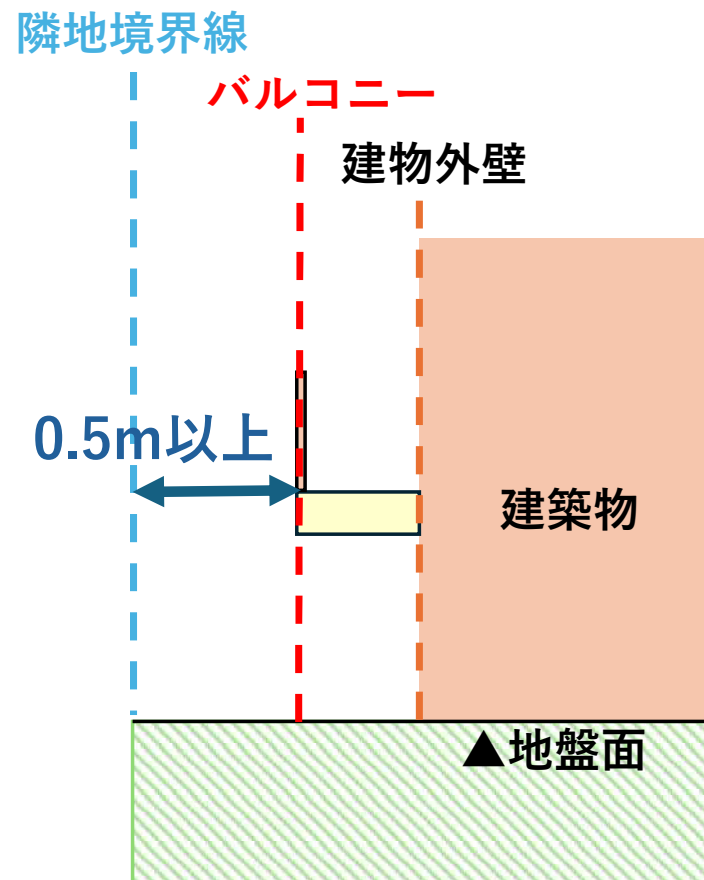
現存する建築物が  
今回のルールに適合していない場合



施行後

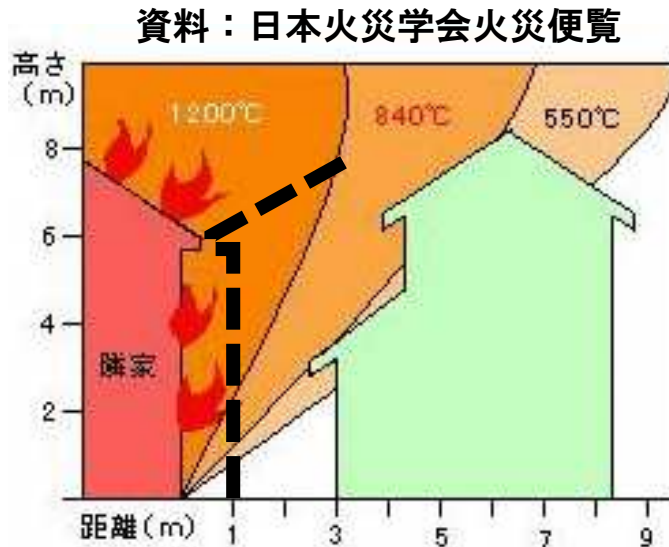


## ルール3: 壁面位置の制限



## ルール3:壁面位置の制限

- ⇒燃えにくい建て物にする事が重要です
- ⇒隣棟間隔を広くとることも効果的です



### ●壊れ難く、逃げ道がある街にする必要があります

- ⇒建物、ブロック塀や擁壁、電柱の耐震化が重要です
- ⇒建物間のスキマを避難経路として確保することも大切です

隣棟間のスキマは命を救う避難路になります

